

特定非営利活動法人 全国精神障害者地域生活支援協議会  
2012年九州・沖縄フォローアップ研修会

## 《開催要綱》

### 【目的】

全国精神障害者地域生活支援協議会は、全国各所において精神障害者の地域での生活を支援する活動を行っている精神障害者作業所・グループホーム・地域生活支援センター等の連携（ネットワーク）を深める事を目的とし、全国組織として1997年7月に結成し活動して参りました。精神障害者が地域で暮らす“生活者”として、また社会を構成する一人としての地域生活を実現することを支援し、その支援活動の充実と社会環境の整備を図ることを目的に各種研修会の開催や機関誌刊行等の活動の中で、会員へ最新の精神保健福祉情報の提供や、各地で取り組まれている地域支援活動を全国に紹介しています。

毎年行われる全国大会を、本年度7月に神奈川県江ノ島にて開催致しました。『あみ全国大会 in 江ノ島 つむいでいこう～懸け橋となるとき～』のテーマで、精神障害者の地域生活をよりよい形にするための実践報告やシンポジウムなどから、活発な意見交換が行われ、参加者それぞれが明日から活用できる新たなエネルギーをお土産として盛大に終了することができました。

今回開催する九州・沖縄フォローアップ研修会は、7月の江ノ島全国大会のテーマ『つむいでいこう～懸け橋となるとき～』をキーワードとして、全国大会で頂いた新たなエネルギーを、住まいと暮らしの視点から、『すべての人が自分の能力を活用しながら、自分らしく尊厳を持って生きるためには何が必要なのか？』を振り返り、これまで皆さんが『幸せになるために、つむいできた活動』を再確認し、来年度より本格的に施行される『総合支援法』を吟味しながら、明日より活用できる新たなエネルギー、そして新たなつながりを構築することを目的に開催致します。1人でも多くの方のご参加をお待ちしています。



[ami]

## 全国精神障害者地域生活支援協議会 九州・沖縄フォローアップ研修会

## &lt;研修会の開催にあたって&gt;

7月に開催されました『ami全国大会 in 江ノ島 つむいでいこう～懸け橋となるとき～』のフォローアップ研修会として、住まいと暮らしの視点から、『すべての人が自分の能力を活用しながら、自分らしく尊厳を持って生きるためには何が必要なのか?』をこれまで皆さんが『幸せになるために、つむいできた活動』を共有できる時間となって頂けたら幸いです。

主催 共催：沖縄県精神保健福祉士協会  
**ami九州・沖縄フォローアップ研修会** 沖縄県精神障害者福祉会連合  
 実行委員会一同

## 会場アクセス

◆バス路線  
 ※那覇市内線  
 眞和志小学校前(那覇市寄宮)下車、南へ徒歩約7分  
 那覇バス・・・2番、3番、

沖縄大学前下車  
 那覇バス・・・6番

※市外線  
 那覇バスターミナルより沖縄大学前下車  
 沖縄バス35番(志多伯線)、100番(白川線)  
 40番・109番(大里線)

◆タクシー  
 那覇空港より20分～30分

## ●プログラム● 受付 9:45～(沖縄大学 本館 103教室)

開会挨拶 沖縄県精神障害者福祉会連合会 会長 島田正博

総会司会 PC-NET NAHA

井口千賀子 10:20～

基調報告「つむいでいこう 懸け橋となるとき ～これからの支援に求められるもの～」 10:30～

講師 事務局長 田中直樹

活動報告「生き活きと生きるために必要な事とは? ゆいまーの島から発信!!」 進行 有限会社コミット 代表 迎里崇雅 11:00～

- |  |                 |         |
|--|-----------------|---------|
| ① 株式会社 HaNaCoLi (生活訓練事業)               | 代表取締役 サービス管理責任者 | 備瀬 恭子 氏 |
| ② 那覇ピアサポートネットワーク                       | 代表              | 城間 優 氏  |
| ③ 株式会社NSP (就労継続支援A型・B型事業)              | サービス管理責任者       | 仲地 宗幸 氏 |
| ④ 自助グループ『フレッシュスタート』 手工芸サークル『ちゅくいん』 発起人 | 新田 宗哲 氏         |         |

(休憩)

12:25～13:30

厚生労働省行政報告「総合支援法について」 13:30～

講師 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課  
 課長補佐 道躰 正成 氏

(休憩)

14:30～14:40

元気の出る話「日本の福祉を変えます ～アソシアの挑戦～」 14:40～

講師 株式会社アソシア CEO 神谷牧人

(休憩)

15:20～15:30

質疑&ディスカッション「よりよい住まいと暮らしのために、つむいでいくこと」 15:30～

座長 社会福祉法人 敬愛会 障がい者就労支援施設 みらい 代表者 熊谷 修 氏

講師パネラー ami九州・沖縄ブロック理事 村上大作 氏 森田哲史 氏 兼濱克弥 氏

閉会挨拶 九州・沖縄ブロック研修会実行委員長

16:30～

## 2012年11月24日(土) ami九州・沖縄フォローアップ研修会 参加申込書(お一人につき一枚)

※お申し込みは、下記研修会事務局まで、郵送またはFAXで11月20日(火)までお願いいたします。

|     |      |         |         |
|-----|------|---------|---------|
| お名前 |      | ご所属     |         |
| 連絡先 | 都道府県 | (TEL: ) | (FAX: ) |

## 参加費(あてはまるところに○印をご記入ください。)

|                     |                 |                          |                              |                 |
|---------------------|-----------------|--------------------------|------------------------------|-----------------|
| 会員・賛助会員<br>(2,000円) | 非会員<br>(3,000円) | 当事者・家族<br>学生<br>(1,000円) | 懇親会<br>11月23日(金)<br>(4,000円) | 昼のお弁当<br>(450円) |
|                     |                 |                          |                              |                 |

ami九州・沖縄フォローアップ研修会事務局  
 那覇市地域生活支援センターなんくる  
 〒900-0024  
 沖縄県那覇市古波蔵4-7-7  
 古波蔵ふれあい館2F  
 担当：兼濱克弥  
 TEL: 098-836-6971  
 FAX: 098-836-6977

※23日(金)の上映会参加者は、上記参加費より10%割引となります。

※定員200名になり次第、締め切らせていただきます。(先着順)

イタリアの精神医療改革バザーリア映画 上映会

# むかし Matto の町があった

*C' era una volta la citta dei matti*



■日時 2012年11月23日(金・祝)

14:00 開会

主催者あいさつ 島田正博(会長)

上映会によせて 仲本晴男(グラッパ会)

14:15 上映開始(途中休憩、17:30分終了)

■会場

沖縄大学 本館101教室(那覇市国場555)

■費用

資料代 1,000円(当日払)

\* 翌日24日(土)は、全国精神障害者地域生活支援協議会

あみ九州・沖縄フォローアップ研修会が開催されます(詳細別紙:映画資料[¥1,000]を持参した方は、参加費が10%割引になります)

「狂気は一つの人間的条件だ。われわれの内には、理性が存在するのと同じように狂気も存在する。社会は理性と同様に狂気も受け入れなければならないのだ」

(フランコ・バザーリア)。

「Mattoの町」とは「Matto」(イタリア語で狂気をもつ人、複数形がMatti)が集められている場所、精神病院のことです。イタリアでは、1978年、精神病院を新しく造ること、精神病院に新たに入院させることを禁止する「180号法(バザーリア法)」が制定されました。

このドラマは、奪われた人間の尊厳を取り戻すために、改革の先頭にたったひとりの精神科医フランコ・バザーリアとその仲間、そして当事者たちの姿を、実話にもとづいて再現したもので、イタリアのテレビ放映で大ヒットしました。

■ 申込み方法 沖福連(098-889-4011)まで事前に参加申込み

(定員180名)

主催:社団法人沖縄県精神障害者福祉会連合会

共催:沖縄県精神保健福祉士協会、全国精神障害者地域生活支援協議会、グラッパ会

\*夕方18時半より懇親会があります。申し込みについては、別紙(あみ九州・沖縄フォローアップ研修会)申し込み用紙をご確認ください。(場所:ファインダイニング ケニーズ 那覇市新都心おもろまち1-1-2 2F)